議会情報便

カワサキ

No.218

発行日
令和2年4月30日
発　行
川崎町議会

編集　議会広聴・広報委員会

「未来（あす）に向かって!!」

2P 議会構成 新たなスタート

6P 新年度予算 社会保障4割超

18P 校外学習 豊かな自然を生かして

23P かわさき想い人 楽しくできる米生産

4月会議

議員決定！ 初議会招集 正副議長・議会構成決まる！

４月６日、一般選挙後の初議会が招集され、議長・副議長の選任、各委員会の構成等が決まりました。

議長選挙・副議長選挙にはそれぞれ１人が立候補し、所信表明後、議長に眞壁範幸議員が、副議長には遠藤美津子議員が指名推薦により選任されました。

第24代　議長

眞壁　範幸 70歳 当選5回

信頼される議会運営を

議員の皆さまのご推挙を賜り、議長の要職に就かせていただきました。

今後も、住民福祉の向上と生活の安定、住みよいまちづくりを議会の立場から推し進め、同時に議会活性化にも取り組みたいと考えています。若い世代や団体との意見交換を行い町政に反映してまいります。

町民の皆さまに信頼される議会運営に努めてまいりますので、重ねてご支援、ご協力をお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。

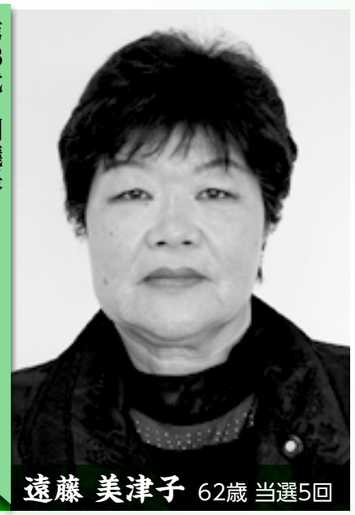
信条

町民の立場に立って、その声を町政に反映させます。若者が定住でき、高齢者も元気に暮らせる活力あるまちづくりを目指します。

抱負

- 教育の充実と子育て支援
- 農業生産者への支援
- 国道２８６号の早期完了

第23代　副議長



遠藤 美津子 62歳 当選5回

さらなる議会活性化に

このたび、議員の皆さまからのご推挙を賜りまして、副議長の任を拝しましたことは身に余る光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感いたしております。

議長を支えながら同僚議員のお力添えをいただき、議会運営が円滑に進行できるよう、さらなる活性化に誠心誠意取り組む所存でございます。

今後とも、皆さまからの、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。

信条

町民の小さな声に寄り添い、女性の視点で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

抱負

- 子育てと教育環境の向上
- 地域福祉の推進
- 防災・減災対策の強化

調査・審査・提言で成果を

総務民生常任委員会

総務課、税務課、地域振興課、会計課、町民生活課、保健福祉課、病院等を調査・審査する委員会です。

後列　高橋 義則委員　大沼 大名委員　的場 要委員
前列　生駒 純一委員　眞幡 善次委員長　遠藤 雅信副委員長

産業建設教育常任委員会

農林課、建設水道課、学務課、幼児教育課、生涯学習課、公民館、農業委員会等を調査・審査する委員会です。

後列　遠藤 美津子委員　佐藤 昭光委員　沼田 長一委員
前列　佐藤 新一郎委員　神崎 安弘委員長　佐藤 清隆副委員長

議会運営委員会

議会の運営やあり方を調査研究し、適正で円滑な運営を行う委員会です。

後列　大沼 大名委員　眞幡 善次委員　神崎 安弘委員
前列　佐藤 新一郎委員　生駒 純一委員長　高橋 義則副委員長

まちづくりを目指します

1 次世代につなぐ地域づくり

佐藤 清隆 47歳 当選1回

信条 共に支え合う真の共生社会を実現し、さらなる地域の発展を目指します。誰かにやってもらうのではなく「自分たちのまちは自分たちで創る」

抱負
- ふるさとを愛し、元気にする人・財を育む教育・福祉の実現
- 多様な働き方、生き方を実現できる住んで良しのまちづくり

2 まちづくりを強く考える

遠藤 雅信 76歳 当選1回

信条 皆さまと同じ目線で、町政を再点検し皆さまが納得する町政を。若者が定住し、活気あるまちづくりを実現できる土台づくりを目指します。

抱負
- スポーツ・文化等を通じ、人間力の強化や町内移住者との交流で、町の魅力の再確認

3 町行政の監視役に

佐藤 昭光 71歳 当選2回

信条 議会は行政の監視機関。税金の使途が町民の〝最大限の幸せ〟に生かされているかを注視してまいります。

抱負
- 町財政の健全化
- 地場産品の商品化
- 町の美化
- 議員定数の削減

4 活力ある地域づくり

高橋 義則 65歳 当選2回

信条 町民から期待された政策形成及び行政監視の役割を果たし、町民とともに活力のある地域づくりと福祉向上に努めます。

抱負
- 小中学校の給食費無料化
- 介護保険、障がい者の利用負担軽減
- 農業に機械導入補助

5 希望のあるまちづくり

沼田 長一 67歳 当選2回

信条 高齢者には生きがいを。子どもたちには安全安心の養育を。若い人たちには希望と夢のあるまちづくりを目指します。

抱負
- 健全財政の確立
- さらなる鳥獣被害対策の推進

6 情報発信や生活支援

大沼 大名 68歳 当選2回

信条 町の発展のため皆さまの声を大切にし、町政に生かします。知恵と汗を出し、誠心誠意取り組みます。

抱負
- 生活環境の充実
- 子育て支援の推進
- 観光と農業の振興

■番号は議席番号、氏名、年齢、当選回数を表します

私たちは こんな

7 まちづくりに町民の力を

神崎 安弘 61歳 当選3回

信条 「初心を忘れず」町民の想いをいかし、子どもから高齢者まで、住んで良かったと言えるまちづくりを目指す政策の提案をします。

抱負
- 農林、商工、観光等の振興
- 教育の充実と環境整備
- 健全財政の確立

8 是々非々で活性化

眞幡 善次 69歳 当選3回

信条 住み良い魅力ある町にするため、住民参加による町政発展を目指し、是々非々で取り組みます。

抱負
- 青根・笹谷・小野地区のさらなる活性化を
- 地域に合った防犯環境の整備
- 小中学生の英語教育の推進

9 町全体のブランド化

的場 要 48歳 当選4回

信条 全ての世代が生き生きと「まちづくり」
安心できるやさしい環境を「福祉と教育」
地場の魅力を自慢と誇りに「産業振興」

抱負
- 川崎町の知名度を高めるための「町全体のブランド化」「情報発信」

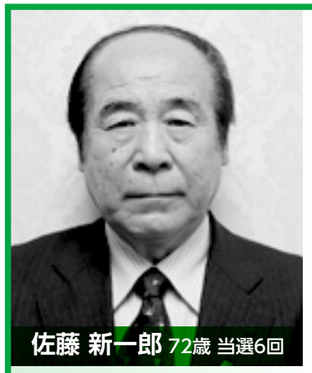
10 農業振興でまちづくり

生駒 純一 69歳 当選6回

信条 川崎町の自然を愛し、若者たちが住んで良かったといえるまちづくり。また町民の皆さまのパイプ役として町政発展を目指します。

抱負
- 農産物のブランド化
- 有害鳥獣被害防止対策
- 川崎町の木材を活用した産業振興

11 地域環境の活性化



佐藤 新一郎 72歳 当選6回

信条 町政発展のため、町、県のパイプ役として、皆さまの声をかたちにし、未来の子どもたちが誇れる郷土を推進し、誠心誠意働きます。

抱負
- 国道457号の歩道設置
- 国道457号及び県道の街路灯設置
- 県道秋保温泉川崎線の道路拡幅

監査委員（議会選出）
沼田 長一 議員

仙南地域広域行政事務組合議会議員
神崎 安弘 議員

宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員
佐藤 新一郎 議員

議会構成

3月会議

新年度予算

一般会計 前年比2000万円減

50億2000万円

町 町民生活向上直結予算

議会 経常経費※の抑制も

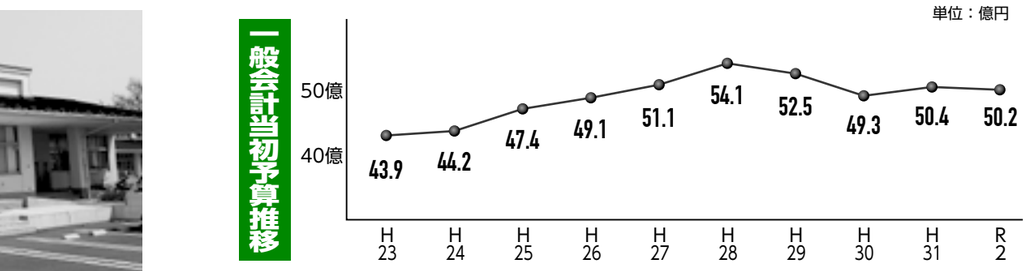
3月会議は、2月28日から3月9日までの会期で開きました。

町より提出された議案は、条例改正案6件、令和2年度予算案8件、元年度補正予算案9件、議員発議案3件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

すべて可決

備えの見直しに

防災マップ改訂
320万円



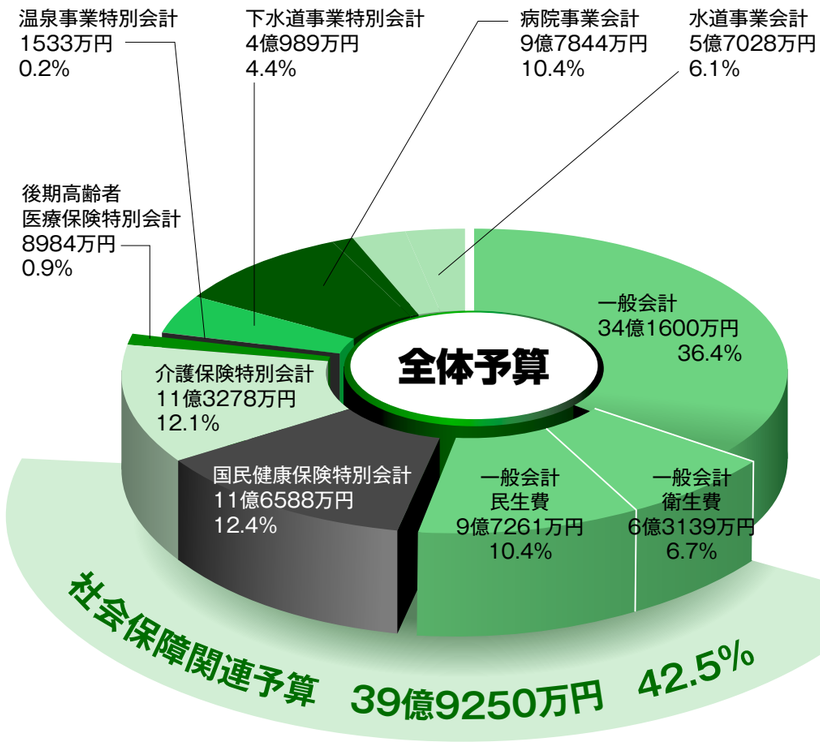
※毎年度継続して支出される経費で、主なものとして人件費、物件費、維持補償費などをいいます。

令和2年

社会保障関連予算 全体の40%を超える

一般会計・特別会計

総額 93億8244万円



補正予算

一般会計

タブレット購入に 学校ICT化整備

■提案理由
情報通信ネットワーク環境施設整備補助金を全国の自治体が申請し国の予算不足となり、補助金が減少。地方債への財源組み替えを行うものです。

総事業費　7270万円

	当初	補正後
補助金	3589万円	補助金 2534万円
地方債等	3681万円	地方債等 4736万円

小学校整備費用　4443万円
中学校整備費用　2827万円

▲教材の1つとして

可決

特別会計 企業会計

令和2年度の特別・企業会計は43億6244万円で、前年度比9251万円減となりました。
特に公共下水道事業特別会計予算が長寿命化事業に係る費用の大幅な減額を見込んだことと、国民健康保険特別会計は被保険者の減少により減額となりました。

特別会計

■国民健康保険特別会計
保険税3000万円減
11億6588万円

■後期高齢者医療保険特別会計
加入増により783万円増
8984万円

■介護保険特別会計
サービス給付費増加を考慮
11億3278万円

■温泉事業特別会計
収入減も施設費は増額
1533万円

■公共下水道事業特別会計
国の交付金大幅減少
4億989万円

▲町民のよりどころ

▲安定供給を求めて

企業会計

■病院事業会計
入院・外来患者数増を見込む
9億7844万円

■水道事業会計
企業債発行額を減少
5億7028万円

■公共下水道事業特別会計
町債・使用料増額・一般会計繰入金減で
326万円減

■提案理由
下水道使用料滞納繰越分の収入増で増額。工事費及び国庫補助金額の確定による町債の増額に伴い、一般会計からの繰入金を減額するものです。

▲今後の維持計画が重要

質疑

なぜ繰り越し
石野議員
問 どのような理由で繰越しになったのですか。
決定が年末のため
建設水道課長
答 昨年12月に令和2年度の前倒しで予算を補正し、発注が12月後半となったためです。

整備負担に説明を
的場議員
問 今後施設老朽化に伴う料金改定について、計画前から丁寧な説明が必要ではないですか。
配慮する
町長
答 受益者負担の観点から方向性を知らせていくよう努力します。

予算質問

使い方は？目的は？

令和２年度の各種会計予算を審査するため特別委員会（委員長石野博之）を設置し、詳細に審議しました。
また、審議後、総括質疑が行われました。
ここでは質問の一部を紹介します。

支援と地域密着で

遠藤（美）委員
問 農業次世代投資事業は、きめ細かく支援をしていかないと定着しないと思います。また、地域との関わりも重要と考えますが。

情報交換をとおして

農林課長
答 サポートチーム設置での現地確認・栽培指導・相談を行っていきます。また、就農状況を確認し、行政区長の協力を得ながら地域の方々と情報交換を交え取り組んでいきます。

情報を示し促進を

沼田委員
問 マイナンバーカードの普及促進を図っていますが、町民は必要性を感じていません。今後、国からの情報を町民に知らせ推進を図っていく必要があると思いますが。

推進の取り組みも

町民生活課長
答 令和３年から健康保険証の機能が付加される予定です。国からの情報はその都度お知らせをし、交付推進をするための取り組みも併せて実施しています。

健全財政を図るため

神崎委員
問 財政調整基金の見通しと、自主財源の確保としてのふるさと納税の戦略は。

バランスを考えて

町　長
答 地方交付税が減少し、財政調整基金の取り崩しを行っています。
ふるさと納税は伸びしろがあると思います。地方債・交付税や自主財源確保と徴収率向上などのバランスを図り、財政運営をしていきます。

空き家で活性化を

眞幡委員
問 空き家が目立ち、そのまま放置すれば廃墟となります。移住・定住を図り活性化のための考えは。また、起業する人への支援は考えていますか。

活用を積極的に

地域振興課長
答 空き家バンクの登録件数は23件です。活用可能物件はバンクへの登録。それ以外は総務課と連携しながら対応したいと思います。
支援等は課内で検討します。

健康を守るために

佐藤（達）委員
問 保健事業では受診率は横ばいで、保健指導率はばらつきがあります。各団体の集会を利用した保健指導の取り組みが必要では。

健診後が大切

保健福祉課長
答 健診後のフォローが重要ですので、個々の指導を行っています。事業所・地区ごとの相談や講話をとおしての健康づくりが大切だと思います。

町民の期待を背負って

活用がカギ

納税の意義をしっかり

団体で指導率アップ

一石二鳥を願って

特産品に

笑顔を見ると…

町民に理解を

加工品で活路を

生駒委員
問 農業振興を図るために加工品開発が重要と考えます。また、ジビエ（※下段左側）について放射能汚染は払拭されていません。見解は。

データを基に検討

農林課長
答 園芸作物を道の駅に出せるようデータ収集し、収益も勘案しながら加工品生産の検討をしたいと思います。

地域振興課長
答 当町は比較的汚染が少ない状況です。県振興事務所と協議しながら進めたいと思います。

今後の減少対策は

高橋委員
問 人口減少対策として移住定住への施策や、ここに住み安心して暮らせる新年度予算だと理解します。この人口減少に対してどのような事業を考えていますか。

意見と予算を考慮し

町　長
答 地方創生に係る事業開始から5年経ちました。結果が出たもの、出なかったものがあります。さまざまな意見と予算とのバランスを図り対応します。

窓口はどこ

遠藤（美）委員
問 新型コロナウイルス感染症の問い合わせ窓口は総務課と伺いました。先日、この感染症について保健福祉課からチラシが配布されました。町民が混乱すると思いますが。

集約は総務課

総務課長
答 対策の総合窓口は総務課としています。チラシは専門部署として厚労省に係る窓口を保健福祉課としたものです。

活躍できる人材は

的場委員
問 町職員も人口にともない減少すると思います。将来活躍できる人材を確保するためには今からの取り組みが必要です。採用判断では試験後の面接が重要と考えますが。

育成を含め対応する

町　長
答 筆記試験後の面接は判断が難しいと感じています。どのように育てていくかということも大切ですので、しっかりと対応します。

意識を高める教育が

大沼委員
問 学校教育での租税教室の開催が少ないと思います。納税意識を高める教育が必要では。

協議し増やしていく

税務課長
答 税務署管内の選定となっていますので、税務署と協議して増やしていきたいと思います。

※狩猟で捕獲されたシカやイノシシなどの野生鳥獣の食肉を意味します。

町政を問う

4人の議員が質問

一般質問は町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

◆ **大沼 大名 議員** …… 14
- (1) 前川小学校閉校後の活用
- (2) 災害への備え

◆ **的場　要 議員** …… 15
- (1) 安心安全なまちづくり
- (2) 運転免許延伸

◆ **高橋 義則 議員** …… 16
- (1) 道の駅開設に向けて
- (2) 自然災害への対応

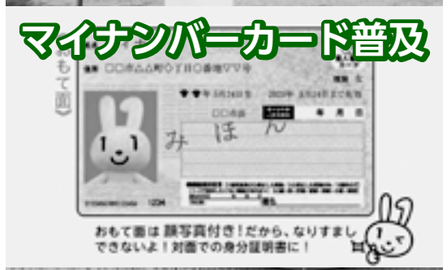
◆ **佐藤 達也 議員** …… 17
- (1) 指定管理者制度の見直しは
- (2) 町でできる温暖化対策は

町へ課題解消を求める

1 将来的な職員数の計画や業務の精査をもって、経常経費を抑制しつつ自主財源確保を図り、健全な財政運営を維持できるよう努めてください。

2 農業振興を図るため、加工品の開発に向けた作物の生産向上支援を検討してください。また、「道の駅」の出品にもつなげてください。

3 にぎわいや地域の活力を維持するため関係機関と協議し、空き家を利用した起業支援策を検討してください。



4 国はマイナンバーカードに健康保険証機能を付加することを、令和３年３月をめどに進めています。今後、国の動向に注視しながら必要な情報を提供し、マイナンバーカード取得を推進してください。

5 健康寿命の延伸と医療・介護の負担軽減を図るため、特定健診受診率をさらに向上させるとともに、健診結果を個別に返す特定保健指導だけでなく、マンパワーを生かした集団※での保健指導にも取り組んでください。

6 農業次世代人材投資事業を定着させるために、きめ細かい就農支援と地域との関わりを含めた検討を進めてください。

※一部、現在の社会情勢に合わない表現があります。
平常時の表現として、ご理解をお願いします。

大沼　大名 議員

問 閉校後の活用は

答 地域との話し合いで

前川小学校が来年３月に閉校します。学校は地域の大きなシンボルです。活用策を見いだせずに長期間遊休化することは、地域はもとより町にとっても大きな損失と考えます。

問 当町には閉校後の活用事例があります。これらの評価や課題について伺います。

答 町　長

運営事業者と地域住民が一体となって管理運営することが望まれますが、事業内容により連携が取りにくいものもありました。

問 町がリーダーシップを発揮しながら、地域住民等の意見を聞き遊休期間がなるべく出ないような取り組みが必要と考えますが。

答 町　長

まずは前川小学校の児童、保護者が戸惑うことなく川崎小学校に通学できるよう取り組みます。また、できるだけ早い時期に活用できるよう、地域住民の方々の声も聞きながら取り組みます。

問 地域住民の要望をまとめ、町として事業者に要望することも必要と思いますが。

答 町　長

事業者が人を集め、収益を上げ事業を継続してもらうことが必要です。そのためには、町はもとより地域との話し合いや、お互いに譲りあわなければならないものも出てくると思っています。

▲地域にあった活用を

問 災害時の実務研修を

答 共有や県の説明会で

問 近年想定外と言われる災害が各地で発生しています。被災地に派遣した職員の報告書だけでなく、生の声、体験談を聞く機会を設けては。

答 町　長

全職員でのレポート共有など、より多くの職員の経験を共有する方法を考えたいと思います。

問 「家が流された。会社も被災し仕事がない。家のローンが払えない。」等の相談に対応できる職員の災害時の実務研修が必要では。

答 町　長

県の説明会に職員を複数派遣しているほか、いろいろな質問に答えられるよう日々勉強できるようにしていきたいと思います。

▲体験談を聞く機会を

的場　要 議員

問 治安維持に必要

答 大切な問題

平成29年度9月会議で「自動販売機併設型防犯カメラ導入」について質問しました。

問 「まずは先進市町での導入経緯や運用状況を確認し、検討したいと思います。」との答弁でした。これまでの検討と今後の取り組みについて伺います。

答 町　長

先進自治体である白石市を訪問し、状況を伺いました。当町でもこの事業者の説明を受け、導入の可否について検討を行いましたが、事業者の提案に見合う自動販売機がないこともあり留保しているところです。

問 この事業以外でも、防犯カメラが必要だと感じています。それは、交流人口増加には、まずは治安が良いことが前提。また、人口減少傾向にある自治体は治安の悪化が進むおそれがあるということへの対策に。

答 町　長

治安の悪いところに人は来ないものですし、犯罪が起こらないように。防犯カメラも使いながらの対応について大切な問題です。もう少し時間をいただいて、どのような形で反映させていったらいいのか検討します。

▲白石市に設置された防犯カメラ

問 町独自の取り組みを

答 講習会ができるか検討

運転免許証の自主返納件数は２００６年から10年間で12倍の25万件を超えています。当町に置きかえて考えると、通院、行政手続、買い物、または活動範囲が狭くなるなど、生活の不便さは大きいものと考えます。

問 現在国において、道路改正法等々さまざまな対策が進んでいるところです。町独自の講習会の開催や認知機能回復トレーニング方法の紹介など、今後取り組んでいく必要があると考えますが。

答 町　長

公共交通網が整備されていない地方において、免許返納により車の運転をやめることは生活の基盤を失う方もいます。その対応については意見が分かれるところです。どのような講習会ができるのか検討します。

▲簡単な訓練で安心安全を！

高橋　義則 議員

問 道の駅の目的は

答 所得増加、希望となれるよう

施政方針で、2023年開設に向けた基本構想の内容について伺います。

問 全国にたくさんの道の駅がありますが、成功事例は多くありません。当町では何を目的としていますか。

答 町　長

生産物の販売による所得増加、農林業に希望が持てるような施設を目指します。また、交流人口の増加、災害時災害本部が置かれる役場の補完的役割を担える施設にできるよう考えています。

▲希望ある道の駅に

問 高齢化が進んでいる中、新たな若い農業人口を育てなければ持続性はないと考えますが。

答 町　長

事業展開をしていくためには、関連の人たちを育て、確保できなければ近隣の町から供給してもらうものを含めて検討、意見交換で議論を深めていきます。

問 多額のお金をつぎ込んで道の駅を造り、町民が潤うような施設であればいいと思いますが、費用対効果はいかがですか。

答 町　長

膨大な予算で施設、運営は考えていません。

改めて町民の皆さんに負担のかからないかたちでいくにはどうしたらいいか、町民の知恵をお借りし判断を仰いでいきます。

問 自主防災組織の促進を

答 隣組単位でも支援

昨年10月、台風19号で広範囲の被害がありました。今後も想定外の被害が予想されます。対応について伺います。

問 自主防災組織の整備が進んでいない地区に対して、どのような取り組みを行ってきましたか。

答 町　長

検討する行政区に対して、相談・組織規約の作成、地区説明会を開催しています。

立ち上げ後、防災資機材の提供、訓練の実施支援、防災講習会の開催を行っています。

問 生活様式の多様性、少子高齢化、単身世帯の増加などの要因で、地区内の結び付きが薄れつつあります。行政で旗振り役となり立ち上げるべきでは。

答 総務課長

行政区長会議で、話をしています。大きな組織でなくても、隣組単位などで組織をつくることも可能ですので立ち上げを行政区長にお願いしています。

佐藤　達也 議員

問 不測の事態に対応を

答 制度検証し協議する

1月会議で提案された指定管理者への3000万円の貸し付けについては、さまざまな質疑が出され判断が難しい状況でした。そこで、指定管理者制度運用について詳細な見直し検討が必要と考えます。

問 不測の事態に対応するために、条例改正や協定の変更の考えは。また、運用できる積立基金創設の考えはありますか。

答 町　長

現時点では、条例の改正並びに積立基金の創設は考えていません。

どのような事案が発生しても、指定管理者と意見を交わしながら適切な運用に努めます。

問 制度を利用する意義や設置の目的を達成するため、利用者・住民・議員・有識者での学習や議論の積み上げが必要です。取り組むべきでは。

答 町　長

平成18年度より3施設の管理運営を行ってきました。以来、総合的な効果検証を行っていません。

このことから、管理者・議会との協議を踏まえ対応してまいりますので検討する時間をいただきたいと思います。

問 計画されている「道の駅」での運用も視野にあると思います。指定管理者制度の見直しを早期に実行してまとめていくことが望まれます。現段階での見解は。

答 町　長

「道の駅」に関しては、指定管理者制度になるか、民間運営会社に任せるのか、議論を踏まえ決定します。

制度の見直しは検証を行い判断します。

▲スムーズな運営を

問 対策はできることを

答 広報媒体で知らせたい

問 環境省では「家庭でできる10の温暖化対策」を作成していますが、届いていません。そこで、町でできる対策として、「知らせる」「少しずつ実行」の対応をしてはいかがでしょうか。

答 町　長

町民一人ひとりが家庭内での「節電」「省エネ」につながり相乗的効果が期待されます。生活習慣を見直すきっかけになると思いますので、町広報紙・ホームページ等を活用し周知を図ります。

家庭でできる10の温暖化対策

1. 冷房を1度高く暖房を1度低く設定
2. 週2日往復8キロ車の運転をやめる
3. アイドリングを1日5分ストップ
4. 待機電力を90%削減
5. 家族全員シャワーを1日1分減らす
6. 風呂の残り湯を洗濯に使い回す
7. 炊飯ジャーの保温を止める
8. 家族が同じ部屋でだんらんし、暖房と照明を2割減らす
9. 買い物袋を持ち歩き、包装の簡単な野菜を選ぶ
10. 番組を選び1日1時間テレビ利用を減らす

校外学習

前川小学校6年生の6人が、1月30日に校外学習のため町議会を訪れました。
議会と議員に関するクイズを出題し模擬審議も見学してもらいました。その後、児童からの質疑、「わたしたちがえがいた未来の町」をテーマに提案発表があり、充実した日となったようです。

「農業体験を受け入れて」「川を生かした大会を」

前川小6年生

「みんな緊張してる?」

はじめに会議室であいさつを交わしました。児童の皆さんが緊張すると思いましたので、議会と議員に関するクイズに答えてもらいました。

「迫力あったかな?」

その後、議場に移動して模擬議案「どこでもドア事業の料金改定」のデモンストレーションを見てもらいました。提案から採決までの流れを実演しました。

議員さんに聴きたい

こどもたちからの質問

何が変わる実感は?

最年少・年長議員は?
女性議員はいますか?
議会は毎日?
年間で何回?
時間はどれくらい?
議会で変わる実感は?

「ドキッ」としました

議会より

分かりやすく答えたつもりでしたが、最後の質問は大変重要なことを聞かれました。再認識します。

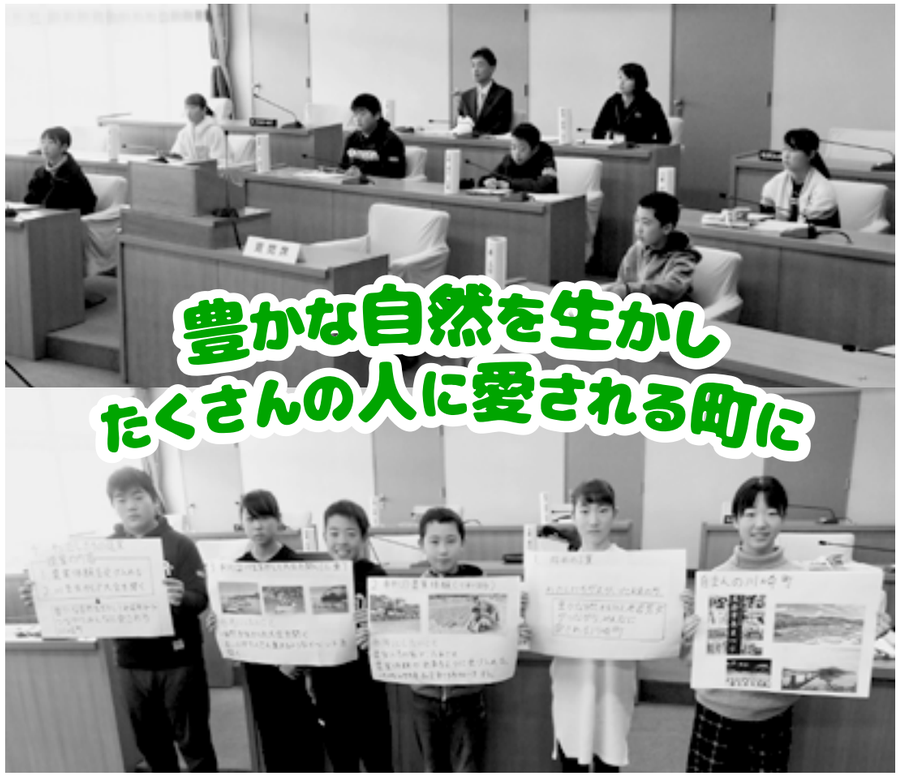
わたしたちの提案は…

わたしたちがえがいた未来の町

テーマ
「豊かな自然を生かして老若男女がつながり、みんなに愛される川崎町」

参考にしたこと
事例① 農業体験(十和田市)農家の方の家で、だれでも農業体験ができるよう受け入れ、特産品を育てる手伝いを行う。
事例② 川を生かして大会を開く(三重県) 自然を生かし大会を開く。若い人が集まるイベントを開く。

提案
❶ 農業体験を受け入れる
❷ 川を生かして大会を開く



「事例を研究した良い提案でした。議会でも参考にします。」

児童の皆さんの感想

(写真右から)

石井 ひより(ひより)さん
「デモンストレーションは、一人ひとりの発言がすごかった」

大宮 結衣(ゆい)さん
「提案は考えたことをしっかり伝えられました」

大宮 龍起(たつき)さん
「議長席に座って緊張しました」

遠山 大輝(ひろき)さん
「機会があったら議員になって参加したい」

村上 維香(ゆいか)さん
「提案は、自信をもってできました」

大宮 陸斗(りくと)さん
「楽しかったし、思うように発表できました」

総務民生常任委員会

調査日　2月7日

介護の現状と課題
医療と多様な連携を

調査事項

【調査結果概要】

介護事業の主な現状に、施設介護サービス費の増加が挙げられます。訪問介護サービスを提供する事業所が、町内では1事業所のみであることが要因だと思われます。

また、高齢化に伴い被保険者は増加しているものの、要介護認定率は18・0％と、全国18・3％や県18・2％の平均を下回っており、住民ボランティアを巻き込んだ介護予防事業の効果が図られています。なお、認知症高齢者および一人暮らし高齢者は増加傾向となっています。

▲いつまでも元気に

【委員会意見】

施設介護サービス費が増加傾向にあります。

特に75歳から大きく増加する傾向にあり、団塊の世代が75歳に到達する2025年の介護認定率が22・6％にも達すると予想されています。さらなる介護予防、認知症高齢者の抑制を図るため、事業の充実強化に取り組んでください。

医療との連携も不可欠であると認識していますので、川崎病院とともに医療と介護における多様な連携の構築を図ってください。

▲適正な管理で活用も視野に

平成30年8月22日に調査を行い、次のとおり委員会意見を提言しています。今回、その後の対応を検証しました。

町有地の現状と活用方法

企業向けの用地として寄附を受けた支倉字滝ノ原の土地は、今後も雑草を刈り払うなど、良好な管理状態で維持されることを望みます。

また、町有地の用途、道路・学校・水路などによって、それぞれの目的により定められた担当課で管理していますが、適正な管理および活用方法の検討など、所管課相互の連携と情報の共有に努めてください。

検証結果

所管課相互で適正な管理を

現在の状況は、防火貯水槽などの消防用施設用地として活用しているほか、法定外公共物である赤線・青線は払い下げや交換を行っており、今年度は6件を予定しています。

維持管理はシルバー人材センターなどを活用し、定期的な草刈りや必要に応じて補修などを実施していることを確認しました。

今後も引き続き適正な管理、所管課相互の連携を図ってください。

また、支倉字滝ノ原の土地は、売却することも含めて検討してください。

産業建設教育常任委員会

調査日　2月6日

調査事項①

公民館活動の現状
健康寿命を考えた事業を

【調査結果概要】

公民館の運営では、「学び合う　心にのこる先人の知恵　広めよう学習の輪」をキャッチフレーズに事業展開をしています。町民の学習課題とニーズを的確に捉えた事業を家庭教育から高齢者教育に至るまで実践し、活力ある地域づくりと生活・文化・教養の向上を図っています。

各分館活動では、スポーツ・レクリエーション活動奨励事業の推進を図る取り組みをしています。分館でバリアフリー化が整備されていない施設は、年次計画に沿って行っていく予定です。

▲町民一スポーツを

【委員会意見】

少年教育や青年教育に関する事業は充実した内容となっていますが、健康寿命を考え、高齢者教育事業に至る前の事業も充実させてください。

また、事業名は参加者の意向もとらえ、名称変更も検討してください。

各事業を充実させるためには開催の時期や課題解消を検討し、徹底した周知や事業への理解が必要です。特にレイクサイドマラソン※のボランティア募集は町内に視点を置き、募る方法、時期、内容を詳細にまとめ、「町民でつくる大会」の機運を高めてください。

※お知らせ「令和2年度のレイクサイドマラソン」は中止となりました。

調査事項②

幼児教育施設の管理状況
安全安心な場所を

【調査結果概要】

富岡幼稚園は平成5年3月開園、かわさきこども園は乳幼児棟の増築で平成23年4月から本格スタートしました。各施設は設備等の保守点検を年数回実施し、保護者の作業協力を得ながら、教育・保育に支障がないようにしています。特に遊具は業者点検のほかに、毎月1回施設従事者で点検しています。

議会から提案のあった防犯カメラ設置の要望は、設置金額・補助金の有無・有効性を検討した結果、設置を見送ることとしました。

▲子どもたちを守るために

【委員会意見】

施設の維持管理には細やかな対応を心がけ、保護者の作業協力は、事故防止から安全な作業のみでお願いする検討をしてください。

両施設は子どもたちにとって安全安心な場所でなければなりません。不審者対策では、第三者受付の設置から玄関施錠の仕方、警報器の設置など、やれることはあるはずです。カメラ設置は犯罪の抑止策や施設内での盗難など、事後の解決に役立つものです。子どもたちを守るために考えられる対策の整合性を検討してください。

意見書の請願が、総務民生常任委員会に付託され
５回にわたる審議を経て採択し本会議で承認可決しました。
ここでは意見書要約版としてお知らせします。

請願

国へ提出　衆議院議長　内閣総理大臣　国土交通大臣　内閣府特命担当大臣（規制改革）

「ライドシェア」と称する「白タク」行為の容認に反対する意見書

地域公共交通は、地域住民や交通弱者のための移動手段として大きな役割を果たしています。しかし昨今、インターネットを利用した「ライドシェア」と称する、いわゆる「白タク」行為の容認を求める動きが出ています。この「ライドシェア」については白タク行為に該当するとの指摘があり、さまざまな法令を遵守し、安全・安心な輸送サービスを提供するタクシー事業や路線バスなどの地域公共交通にも影響を及ぼしかねないと懸念されています。

よって、国においては地域公共交通に大きな混乱をもたらす「ライドシェア」と称する「白タク」行為を容認することのないよう強く要望します。

県へ提出　宮城県知事　村井　嘉浩　殿

記録的な暖冬・雪不足に対応した緊急支援策を求める意見書

今期の記録的な小雪で、県内のスキー場は大変厳しい状況にあります。本来ならば１月末から２月は積雪も豊富で、子どもたちのスキー教室などもピークを迎えるころですが、雪不足で営業できなかったスキー場もあり、キャンセルが相次いだ状況となりました。

このような状況を踏まえ、冬季観光産業の重要な柱であるスキー場産業の経営維持を図り、地元雇用者と地域経済の安定、及びスキー教室という地域文化を未来へ伝える子どもたちのために、以下の財政措置等の支援を要望いたします。

▲オープンから雪不足が続いた

記

1　営業停止期間中の雇用の維持、確保（待機手当等）の補助を要望
2　雪の運搬または降雪機（造雪）に係る経費の補助を要望
3　今後の備えとして、人工降雪機を導入する際に係る補助を要望
4　安定した経営を図るため、冬シーズン以外の事業の補助を要望
5　索道施設やゲレンデ整備車に係る整備費の補助を要望

意見書　可決

かわさき想い人

子どものころから家業の米作りを手伝い、気付けば重機回送業も始めていました。兼業農家ながら、夢は機械化をもっと進め、楽に楽しくできる米生産を目指すと語る藤原貴裕さんをご紹介します。

中学生から

Q 米作りをするようになったきっかけは。

A 家業を中学生のころから手伝うようになりました。高校を卒業すると自然と米作りをするようになり、今や設備の修理も自分でするのが、楽しみになっています。

頼まれて

Q 規模拡大を目指すようになった理由は。

A 知り合いが高齢になって頼まれたのが始まりです。作付面積がどんどん増え、今や25ヘクタールまでになっています。高齢化で農業をやる人が少なくなったと感じています。

田んぼが点在

Q どんなところで米作りをしているのですか。

A 川内と各地区に田んぼが点在しているため、田植え作業が始まったら、あちらこちらへと移動するので、目が回るくらい動き回っています。

投資と草刈り

Q 米作りでの課題はどんなことですか。

A 投資額が大きいことと、田んぼの整備が課題です。土手の草刈りは大変な作業だと思っています。田んぼの高低差もあり、草刈りの機械化を進めていかなければなりません。

▲農機具も自分で修理しコスト削減に挑戦！

藤原貴裕（たかひろ）さん（川内１）

もっと力を

Q 議会に対しての意見や望むことはありますか。

A 川崎は農業の町なので、農業後継者が育つような仕組みづくりを行ってほしいと感じています。

Q 今後のまちづくりについての思いは。

A 農家は田植え時の水の確保が命。農業用水路の整備にもっと力を入れて取り組んでもらいたいと思います。

お知らせ

議会傍聴の中止について

新型コロナウイルス感染防止対策として、感染拡大の影響が収束し、安全が確認されるまでの間、傍聴席での傍聴を中止します。

本会議はインターネット中継及び役場１階町民ホールで視聴できます。詳しくは、町議会のホームページをご覧ください。ご理解とご協力をお願いします。

※次回の会議は6月9日(火)
一般質問は6月10日(水)・11日(木)
午前10時、再開の予定です。

詳しくは、議会事務局まで TEL(0224)84-2111 (内線1302)

「議会情報便カワサキ No.214」が、第34回町村議会広報全国コンクールで「優良賞（第８位）」を受賞しました。（受賞は４年連続です。）

議会広報紙発行には、これまで多くの町民の方々にご協力をいただきました。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

広報モニターボランティア 募集

議会情報便の企画・編集等に関し、広く町民から意見やアイディアを聴取して、より内容の充実を図りたいと思います。その取り組みとして広報モニター制度をはじめます。希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。

■募集内容
18歳以上の町民の方で、3人程度、任期は2年です。主な役割は編集作業への参加や写真の提供などをお願いします。

議会・広報誌に対するご意見ご要望も大募集!!

議会広聴・広報委員会

議長	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員
眞壁 幸範	大沼 名	沼田 一	眞幡 善次	神崎 弘	高橋 則	佐藤 光	遠藤 信	佐藤 隆
眞壁 幸範	大沼 名	沼田 一	眞幡 善次	神崎 弘	高橋 則	佐藤 昭義	遠藤 雅	佐藤 清

表紙の説明　「未来（あす）に向かって!!」
川崎小学校入学式にて
撮影　コラボレーター　佐々木和人さん

発行　川崎町議会　編集　議会広聴・広報委員会
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL(0224)84-2111・FAX 84-6789
E-mail:kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp
印刷　株式会社津田印刷